

教科	公民	科目	倫理	履修区分	必履修	使用教科書	東京書籍『倫理(701)』
添削指導回数	6	面接指導回数	2	単位認定試験回数	1	副教材等	NHK高校講座

学習の目標

① <「知識及び技能」に関わる目標> 古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付ける。

② <「思考力、判断力、表現力等」に関わる目標> 自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。

③ <「学びに向かう力、人間性等」に関わる目標> 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。

学習に取り組む際の注意事項

添削指導	提出期間に間に合うように提出する（タブレットは1枚ずつ、紙は6枚ずつ）。
面接指導	各期に開講する番号を確認し計画的に出席する。
	●視聴票：面接指導の出席と合わせ、①～②の計2時間となるように提出する。 ※視聴票による減免は原則1時間（6割減免）まで。
単位認定試験	添削指導、面接指導（視聴票を含む）を全て修了後に受験。
単位修得（認定）に当たっての基準	
評価方法	各単元ごとに3観点で評価（A・B・C）し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

単元名（教科書ページ）	添削指導 No.	面接指導				単位認定 試験	観点別評価	
		開講番号	開講期	視聴票			観点	評価規準
				NHK高校講座	東京書籍			
p. 6～42 人間の心のあり方 哲学すること ギリシャの思想	1	①	Ⅰ・Ⅲ期	2, 5, 12, 29	全課程から問題を選出し、出題する。	知識・技能	幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、ギリシャの思想、キリスト教、イスラーム、仏教、中国の思想、人生における宗教や芸術の意義について理解している。「哲学」の意味や、「哲学すること」の意義について理解している。	
思考・判断・表現	幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、ギリシャの思想、キリスト教、イスラーム、仏教、中国の思想、宗教や芸術に見られるさまざまな人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。「哲学」の意味や、「哲学すること」の意義について、多面的・多角的に考察し、自己の在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方の考察に関連付けて思索を深めている							
主体的に学習に取り組む態度	現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりすることができる。							
知識・技能	幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目し、キリスト教やイスラーム、仏教における人生観・倫理観・世界観について理解している。中国の伝統思想に見られる人生観・倫理観・世界観について理解している。							
思考・判断・表現	幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、キリスト教やイスラーム、仏教における人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察し、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。古代からの中国の伝統思想に見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。							
主体的に学習に取り組む態度	現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりすることができる。							
p. 43～81 キリスト教 イスラーム 仏教 中国の思想	2	②	Ⅱ期	18, 19, 37, 42	全課程から問題を選出し、出題する。	知識・技能	西洋における近代化の特徴について、現代に通じる人間尊重の精神という観点から、歴史的背景とともに理解している。幸福、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えた経験論や合理論、社会契約説、啓蒙主義に関する諸思想の特徴について理解している。カントとヘーゲルの思想に見られる、近代における人間と近代社会の在り方について理解している。、現代の価値観に影響を与えた近代の社会変革の思想について、歴史的背景とともに理解している。	
思考・判断・表現	西洋における近代化の特徴について、現代に通じる人間尊重の精神という観点から、歴史的背景をふまえて多面的・多角的に考察している。現代の価値観に影響を与えた経験論や合理論、社会契約説、啓蒙主義に関する諸思想について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。カントとヘーゲルの思想に見られる、近代における人間と近代社会の在り方について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。							
主体的に学習に取り組む態度	現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりすることができる。							
知識・技能	キルケゴール、ニーチェ、フロイトの思想について、近代の理性中心のあり方への批判という観点から理解している。20世紀以降の諸思想について、従来の人間観や世界観、言語観がどのように問いなおされたかという観点から理解している。さまざまな人物や宗教が他者や自然とのかかわりについてどのように考えたか理解している。							
思考・判断・表現	キルケゴール、ニーチェ、フロイトの思想を手がかりに、近代の人間観や世界観がどのように変容したかについて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。20世紀以降の諸思想を手がかりに、従来の人間観や世界観、言語観の問いなおしについて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。							
主体的に学習に取り組む態度	現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりすることができる。							
p. 82～115 近代と人間尊重の精神 近代思想の展開 人格の尊厳と人倫の思想 社会変革の思想	3	②	Ⅱ期	18, 19, 37, 42	全課程から問題を選出し、出題する。	知識・技能	古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に着目して、日本の風土や伝統、外来思想の受容などを基に、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について思索するための手がかりとなる日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について、自己とのかかわりにおいて理解している。	
思考・判断・表現	古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想を手がかりとして、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。							
主体的に学習に取り組む態度	現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりすることができる。							
知識・技能	第1編で学習した事項を基盤として、さまざまな現代事象に関する概念や現代の諸問題に着目して、その意義について多面的・多角的に考察し、公正に判断するために必要な事項を理解している。							
思考・判断・表現	第1編で学習した事項を基盤として、生命倫理に関する概念や現代の諸問題に着目して、その意義について多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述している。							
主体的に学習に取り組む態度	現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりすることができる。							
p. 116～147 理性への疑念 人間観・言語観の問いなおし 他者・自然とのかかわり	4	②	Ⅱ期	18, 19, 37, 42	全課程から問題を選出し、出題する。	知識・技能	第1編で学習した事項を基盤として、さまざまな現代事象に関する概念や現代の諸問題に着目して、その意義について多面的・多角的に考察し、公正に判断するために必要な事項を理解している。	
思考・判断・表現	第1編で学習した事項を基盤として、生命倫理に関する概念や現代の諸問題に着目して、その意義について多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述している。							
主体的に学習に取り組む態度	現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりすることができる。							
知識・技能	第1編で学習した事項を基盤として、さまざまな現代事象に関する概念や現代の諸問題に着目して、その意義について多面的・多角的に考察し、公正に判断するために必要な事項を理解している。							
思考・判断・表現	第1編で学習した事項を基盤として、生命倫理に関する概念や現代の諸問題に着目して、その意義について多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述している。							
主体的に学習に取り組む態度	現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりすることができる。							
p. 148～205 国際社会に生きる日本人としての自覚	5	②	Ⅱ期	18, 19, 37, 42	全課程から問題を選出し、出題する。	知識・技能	第1編で学習した事項を基盤として、さまざまな現代事象に関する概念や現代の諸問題に着目して、その意義について多面的・多角的に考察し、公正に判断するために必要な事項を理解している。	
思考・判断・表現	第1編で学習した事項を基盤として、生命倫理に関する概念や現代の諸問題に着目して、その意義について多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述している。							
主体的に学習に取り組む態度	現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりすることができる。							
知識・技能	第1編で学習した事項を基盤として、さまざまな現代事象に関する概念や現代の諸問題に着目して、その意義について多面的・多角的に考察し、公正に判断するために必要な事項を理解している。							
思考・判断・表現	第1編で学習した事項を基盤として、生命倫理に関する概念や現代の諸問題に着目して、その意義について多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述している。							
主体的に学習に取り組む態度	現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりすることができる。							
p. 206～235 現代の諸課題と倫理	6	②	Ⅱ期	18, 19, 37, 42	全課程から問題を選出し、出題する。	知識・技能	第1編で学習した事項を基盤として、さまざまな現代事象に関する概念や現代の諸問題に着目して、その意義について多面的・多角的に考察し、公正に判断するために必要な事項を理解している。	
思考・判断・表現	第1編で学習した事項を基盤として、生命倫理に関する概念や現代の諸問題に着目して、その意義について多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述している。							
主体的に学習に取り組む態度	現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりすることができる。							
知識・技能	第1編で学習した事項を基盤として、さまざまな現代事象に関する概念や現代の諸問題に着目して、その意義について多面的・多角的に考察し、公正に判断するために必要な事項を理解している。							
思考・判断・表現	第1編で学習した事項を基盤として、生命倫理に関する概念や現代の諸問題に着目して、その意義について多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述している。							
主体的に学習に取り組む態度	現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりすることができる。							